

「第69回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和5年1月11日（水）14時～15時30分
- 出席人数：会場7人（欠席11人） 傍聴：4人

1 南西部地域の特性に即した新たな交通手段の研究

(1) 前回の振り返りと確認

公共交通課より説明

・運行曜日について

- ・2つのエリアを1台で運行することを前提で考えているので、曜日で分けて設定することで検討する。
- ・実証実験運行の乗車実績や人口、面積の広さから、鷹の台駅西側地域を3日とし、上水本町地域を2日として検討する。
- ・実証実験期間については、新しい運行システムを定着させることが重要なので、これまでの6～8カ月よりも長く設定した方が良い。
- ・曜日を分けるなど複雑にしないで、分かりやすくして、伝えることが重要である。
- ・コミュニティタクシーでは月曜日と金曜日の利用が多いので、その曜日は分けた方が良い。
- ・午前と午後で分けてしまうと、通院で利用するのが難しくなる。行きは利用できるが、帰りは利用できなくなってしまうという問題が出る。
- ・検討したが結論は出ず、公共交通課で調整する。

・利用対象者について

- ・小川町1丁目、津田町、学園西町を除く南西部地域の人口は、約39,000人で、利用登録対象者に対する申請割合を東久留米市の事例に当てはめ13.5%とすると、小平市の場合、約5,300人の申請者数が見込まれる。
- ・対象者を絞らないと、高齢者等の交通弱者が利用したくても、利用できなくなることが生じる。
- ・まずは対象者を高齢者や未就学児、妊婦に絞って事前登録してもらおうが、登録者が少ない場合は、制限を外して増やすことを考えてはどうか。
- ・公共交通課が案を示すこととなった。

質疑

- ・運行曜日について、前回の報告によると様々な意見が出たようだが、決まったのか。
→（公共交通課）実証実験運行の乗車実績や人口比から、鷹の台駅西側地域を3日とし、上水本町地域を2日とすることについては、概ね共通認識が図られた。月・火曜日と連続して運行するよりは、買物や外出の機会のバランスを考えると、月・木曜日か、火・

金曜日のパターンのどちらかがいいのではないかと考える。上水本町地域の方と協議して決めていく。

(2) 今回の検討内容

他市で実績のある方式をミックスした案をベースに引き続き検討し、南西部地域の特性やニーズに即した新たな案として運行パターンを考えていく。

協議

①運行曜日について

(座長) 鷹の台駅西側地域を3日、上水本町地域を2日とする。曜日のパターンについては、今日は、上水本町地域の方が少ないので、後日公共交通課と調整して進めていくことで良いか。まずは、上水本町地域の曜日を決め、残りを鷹の台駅西側地域に割り当てるということで良いか。

②利用対象者について

(公共交通課) 予約受付にシステムを導入すると500万円～600万円かかるとのことなので、実証実験運行では導入は想定していなかったが、近隣市の状況や実際の予約受付方法等の利便性や効率化を考えると、システムの導入は必要と考える。

(座長) 参考資料として、駅から近い地域を除いた南西部地域のある一定の年齢層ごとの人口や妊婦の推計人口を示した。これによると、南西部地域の65歳以上と0～6歳と妊婦を合計すると、13,000人弱になる。東久留米市のデマンド交通の対象者に対する申請割合は、令和3年10月が13.5%、令和2年10月が9.2%なので、これを南西部地域に当てはめ、10%と見込むと約1,300人になる。まずはこの人数で始めてみて、状況を確認しながら対象を広げていってはどうか。

・受付については、システムを導入しないで、現在稼働している市の公共施設予約システムを活用できないか。

→ (公共交通課) 予約の受付や配車プラン作成(配車の順番設定)には、地図情報や現在地を把握する必要があるため、システムが異なり難しい。

・東久留米市の事例では、申請割合が1年で約1.5倍に上がっているので、周知が重要と考える。

(座長) まずは、対象者を絞り、人口の10%程と見込んで始めてみるが、状況を見ながら対象者を拡大するなど進めていく。

・対象者を絞る際、年齢の確認方法が難しいのでは。

→ (公共交通課) 申請方法や登録要件等の確認方法については、公共交通課で検討する。確認の際に必要な書類については、市の他の事業で行っているものと同様となる。

・高齢者や歩行困難な方の付き添い人の扱いはどうするのか。

→ (公共交通課) 介助者の同乗は必要と考えている。

③乗降場所の候補地の検討（グループワーク）

公共交通課から説明

- ・乗降場所の候補地については、過去のグループワークの際、253カ所にシールが貼られたが、公共交通課で安全性が確保できない場所を精査した結果、191カ所に整理し、候補地一覧を作成した。
- ・今回は、改めてシールを貼った場所が、分かりやすい場所かどうか、安全な場所かどうか、間隔の妥当性等を確認する。
- ・設置が難しい場所については、可能な場所へ、また分かりやすい場所への移動を検討する。
- ・設置が不要な場所は、削除を検討する。

2 その他

（1）市からの情報提供

①三鷹市のデマンド交通に関する視察の報告（視察日：令和4年12月21日）

- ・実証実験運行の期間は、令和4年10月から約1年間。
- ・対象の大沢地区は、これまでコミュニティバスが運行していたが、路線の距離が長く、運行本数も少ないため、効率性、利便性が低かったことから、全市的なコミュニティバスの再編の中で、当該地区への運行がなくなった。この地区の住民の生活交通を確保するため、デマンド交通を導入することとなった。
- ・乗車料金は、エリア内は100円で、エリア内からエリア外への利用は300円。エリア外の乗降ポイントは、市役所、杏林大学病院、元気創造プラザの3つある。
- ・乗降ポイントは、公共施設、公園、病院、スーパーマーケットなどに設置がある。集合住宅前には設置したが、個人宅前には設置していない。
- ・運行曜日は、月曜日から土曜日で、運行時間は、午前8時から午後5時まで。
- ・運行車両は、タクシー車両が2台で運行し、タクシー事業者の2社に委託している。
- ・予約方法は、電話とアプリで受け付けているが、若干アプリ予約の方が多い。
- ・1日、30人程度の利用があり、利用は伸びている。
- ・予約の多い時間帯は、10時台がピークで、8時台、12時～14時台が多い。
- ・利用者アンケートによると、利用者の年齢層は高齢者に限らず、幅広い年齢層の利用がある。
- ・利用対象者は絞っていない。

②3月の開催について

- ・公共交通課から、3月8日は（市議会の関係で）都合が悪いとの報告があった。
→同意のうえ、3月は開催しないこととなった。

(2) 参加団体からの情報提供
特になし

《今後の予定》

第70回 令和5年2月8日(水) 14時から開催 ※場所 小川公民館 講座室

※3月の開催なし

次回は、

これまでのデマンド型交通の導入に向けた検討・調整内容について、情報共有し、
再確認する。